

# まだまだ知られざるTPP（環太平洋）の正体

安倍首相が「聖域なき関税撤廃を前提にする限り参加しない」と表明しているものの、選挙前には日本商工会議所の岡村正会頭との会談後、「守るべきものを守っていく」という交渉はできる」とも会見しており、アメリカ、財界の圧力が強まる中、参加表明するのではないかと不安が広がっています。

滋賀県では昨年、JA中央会や県医師会、町村会など217の団体・個人で「県民会議」を結成。甲良町では昨年3月、TPP交渉参加反対の意見書が可決。北川町長が日本共産党主催の農業シンポジウム（2010年）に「甲良の優秀な米生産地が崩壊していく」とTPP反対のメッセージを寄せていました。

一方「TPPで、何のこと？」と実態が知られていないのも事実。日本共産党志位委員長らの演説や堤未果（つつみ みか）さんの解説（「生活と自治11月号」より）などを紹介します。

志位委員長の演説より  
「関税撤廃」の例外なし  
9カ国合意の受け入れが日本の交渉参加条件

志位氏は、TPP参加で「守るべきものは守る」などありえないとして次の事実を示しました。

2011年11月12日に交渉9カ国の指導者が発表したTPPの「大要」では、「商品・サービス、貿易や投資への関税や障壁を撤廃する」と明記され関税撤廃に例外はないことが明確であること。

後から交渉に参加したカナダ、メキシコは、現行交渉参加国がすべてに合意した条文はすべて受け入れる。＝合意を黙って受け入れるのが条件とされており、日本だけが別扱いされることは考えられないこと。

志位氏は、これがTPP交渉の実態であるにもかかわらず「守るべきものは守る」ことが可能であるかのように述べ、交渉参加を進めようとする民主党、自民党などの姿勢は、国民をあざむくものだと厳しく

市田書記局長の参院本会議代表質問より

TPP参加は「百害あって一利なし」 参加反対の公約投げ捨ては許されな

「TPPへの参加は、農業を破壊し、私たちの祖先が営々と築きあげてきた日本の風土と景観をこわし、さらに非関税障壁の撤廃で、食の安全や医療、雇用や地域経済をも脅かすという、国民にとっては『百害あって一利なし』の暴挙であります。」

堤未果さんの解説より

「1%」に都合の良いしくみ

ヒト、モノ、カネ、情報の国境を越えた流動化をめざすグローバルイノベーションを進めるための国際協定の一つです。・・・「99%」の市民ではなく「1%」に都合の良い仕組みをつくり、交渉内容が明らかにされず、「1%」層のみが全ての情

## 【TPPをめぐる首相、与党の見解の変遷】

「『聖域なき関税撤廃』を前提にする限り、交渉には反対する」(自民党総選挙、公約2012年11月21日)  
 「国益にかなう最善の道を進める」(自公連立政権合意、同12月25日)  
 「情報を分析しながら、総合的に検討していく」(首相就任記者会見、同12月26日)  
 「参院選の前に方向性を示していきたい」(日本テレビの番組、2013年1月29日)  
 「判断時期は現時点では決めていない」「公約に明記した通り、聖域なき関税撤廃を前提にする限り参加しない」(衆院本会議、同1月31日)

報を掌握していることで

「権利」は「高級品」

に  
・・・私たち日本人が「権利」だと思っている教育や医療は、今や米国では「商品」です。しかも非常に高額で、お金がなければ得られません。中流以下の人たちはぜいたく品になってしまいました。

ISD条項とは

ISDは「投資家対国家間の紛争解決条項」とは(国外)企業が政府を提訴できる権利。これが行使されれば自国が国民の安全、健康、福祉、環境などに関する基準を自ら決定し守ることが困難に。北米自由貿易協定では、ISD条項が実際に行使され、一企業が法治国家の権限を上回ってしまつてケースが現実となつています。・・・堤さんは、「社会を変える力



つつみ みか 東京生まれ。ジャーナリストとして執筆・講演活動を続ける。「貧困大陸アメリカ」(岩波親書)「政府は必ず嘘をつく」(角川SSC新書)など著書多数。=「生活と自治11号」より

甲良民報

2013年2月10日 542号

発行責任：日本共産党甲良町支部  
 連絡：甲良町在土463(西澤)  
 Tel.Fax38-4949

みなさんのお声・願いをお待ちしています くらし・医療・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123  
 日本共産党甲良町支部の見解を紹介します。メール [siga-koura463@jcp-nobuaki.com](mailto:siga-koura463@jcp-nobuaki.com) ホームページもご覧ください【「西澤伸明」で検索】